

「共汗」「共学」「共生」3つの「共」を柱に

11月14日から

風間市政がスタートしました

私は、このたびの選挙において、市民の皆様方のご信任を得て、今後四年間、市民の一人として市政を担当させていただくことになりました。

「くらし日本一のまちづくり」を継承しつつ、ふるさとの歴史や文化、そして自然豊かなこの白石に住む誰もが、活気と活力にあふれ、扶助の気持ちに満ちた「人」やさしく、生きがいを持って暮らせる白石へと私は、三つの「共」を柱にして創造してまいります。

一つ目は「共汗」です。共に考え、共に汗を流しながら、しっかりと市政を実現してまいります。それはいかなる分野においても活気を得るためには「ひとつづくり」が重要だからです。例えば中心市街地の活性化を考えている人、地場産品消費拡大や顔の見える農業を進めている人、さらに各地域の活性化に汗をかいている人と市政が連携していくことが必要不可欠であり、大切であると考え、

「ひとつづくり」に対しての支援に力を入れてまいります。

二つ目は「共学」です。共に学び、共に交流し楽しめる白石を創造してまいります。それには次世代を担う子どもたちを「共育」できる環境づくりが重要です。既存のハードを最大限に利用し、スポーツ、文化や地域での世代間の交流を通し、おじいちゃん、おばあちゃんには生きがいを、子どもたちには生きた知恵や知識を得る機会を増やす支援をしてまいります。さらに子育て支援との連携を強化することにより「共育のまち白石」を実現することは、人口減少に歯止めをかけられると信じております。

三つ目は「共生」です。共に助け合い、共に生きて心豊かな白石を実現させてまいります。三位一体改革の中で適正な財政運営を行いながら、健康、福祉、防災に力を入れてまいります。健康寿命の延伸を図るとともに、福祉と医療

人によさしく 生きがいを持って暮らせる白石を創造します

白石市長 風間康静

の連携強化を目指してまいります。また自然災害への対策を強化するため、「ハザードマップ」を作成し、市民の皆様方に安心と安全を提供してまいります。

市民ひとり一人が光を得た時、白石は輝きます。人として尊厳を大切に、扶助の気持ちを忘れぬ、活力ある活気に満ちた白石を私は創り上げてまいります。決意でございますので、一層のご支援をお願いいたします。



▲11月15日に初登庁した風間市長

10月31日、任期満了に伴う白石市長選挙が電子投票により実施され、即日開票の結果、風間康静氏が初当選を果たしました。

今月号では、11月14日から第14代白石市長に就任した風間市長の就任あいさつを掲載し、今後4年間の市政の基本方針などを紹介します。

**20年間で苦勞様でした
川井前市長が笑顔で退任**

11月12日、昭和59年11月から平成16年11月まで、5期20年の長きにわたり白石市長を務められ、市勢発展に尽力された川井貞一前市長の退任式が、市庁舎で行われました。

退任式の席上、「暗れ暗れとした気持ちで退任します。20年間の協力に心より感謝します。」と心境を述べられた川井前市長は、さらに市職員に対して、「これから先もふるさとを愛し、新しい市長のもとで精いっぱい能力を発揮していただきたい」と激励されました。

川井前市長、20年間本当にご苦労さまでした。

市職員や大勢の市民に見送られ市庁舎を後にする川井前市長



▶初登庁の後、市庁舎で就任式が行われました。出席した市職員を前に風間市長は、「市民のための行政、人によさしい行政を目指し、皆さんとともに頑張っていく」となごり強く訓示しました。